

十月一日より厳修
七五三まいり



創刊 昭和29年1月25日 (844号) 令和6年9月25日発行

発行所 愛知県犬山市
成田山名古屋別院大聖寺
電話 0568 (61) 2583 (代)
FAX 0568 (62) 7020
毎月1回25日発行

犬山成田山 [検索](#)



犬山成田山
ホームページ
←QRコード

秋彼岸会法要 〓 九月二十二日、大師堂



教苑

「思いやり」と「覚悟」



1982年に関東の大学を卒業し、東京一極集中から地方の時代になると考え、名古屋鉄道という舞台を選択しました。サラリーマン人生を振り返り、経験から培った私のモットーをお話したいと思います。

若い時は、渥美半島先端の伊良湖岬で大アサリを焼いたり、三河湾の篠島でゴルフのショートコースの建設に携わったり、広報や秘書の仕事もやったりして、名鉄グループでキャリアを積みました。世はバブルの絶頂期で、安月給にも関わらず飲み会での二次会も頻繁でした。

その後日本経済は、バブルの崩壊、リーマンショック、パンデミックなどに見舞われ、名鉄グループも大きな影響を受けました。私は管理職として、要員管理の仕事や東京銀座の事務所の責任者などを経験し、名古屋鉄道のレジャー施設を運営する会社の責任者を経て現在にいたっています。

多くの出会いがあり、相手の気持ちを理解し、同じ目線で会話し、「思いやり」を持つことに心がけてきました。私は人と仲良くなるのが好きです。おかげさまで今でも多くの人とお付き合いさせていただいています。

また、最近特に大切にしているのは「覚悟」です。覚悟すると言うことは、何かを捨て何かを選択し、それを信じて決心を固めることです。その判断が違っていたとしても、自分のことなら自分で責任を取れば済みますが、多くの人に関わる判断を強いられる局面で、自分を信じて行動するという覚悟があるかどうかです。

名鉄グループは、「地域」を創る、「社会」を支える、そして「まち」を彩るリーディングカンパニーを目指しています。新経営ビジョンのスローガン「名鉄×WAO!」も話題を呼んでいます。名鉄グループの一員として、この「思いやり」と「覚悟」をモットーに、グループの発展に貢献したいと考えています。

学校法人名鉄学園

専務理事 岩城 史憲

秋彼岸会法要営む

秋のお彼岸中日に当たる九月二十二日、午後二時より大師堂において、小豆畑主監お導師のもと秋彼岸会法要が営まれました。【写真一面】

法要には当山関係物故者のご遺族を始め、「霊雲閣」に

お位牌を奉祀されているご遺族が多数参列され、諸精霊に供養の誠を捧げられました。

また法要後は、霊雲閣にて位牌を奉祀された各家の先祖代々精霊への回向が営まれました。

岐阜県自動車会議所・岐阜県交通安全協会主催 交通安全祈願祭厳修



九月二十日、午後一時半より岐阜自動車会館（岐阜市日置江）において、岐阜県自動車会議所・岐阜県交通安全協会主催の交通安全祈願祭が小

豆畑主監お導師のもと厳修されました。

九月二十一日から三十日まで実施される「秋の全国交通安全運動」に合わせ、岐阜県では二十日、「自動車交通安全防止大会」が岐阜自動車会館において開催され、大会冒頭、交通安全祈願祭が執り行われました。

大会には岐阜県内の自動車関係、交通安全関係の代表者など、約三〇〇人が参加されました。

交通安全週間 特別ご祈祷厳修

九月二十一日から三十日まで交通安全特別ご祈祷が厳修されました。

当山では年四回の「交通安全週間」の主旨に賛同し、この期間中に交通安全ご祈祷を受けられた方に「交通安全之証」を授与して、より一層の交通安全のご加護を得られますよう心よりお祈り申し上げます。



交通安全之証

交通安全護摩木 のご案内

祈交通安全 成田一郎

お名前をお書きの上、**自動車祈禱殿にて**お申込み下さい。お護摩祈禱にてお焚き上げし、交通安全をご祈念いたします。

初穂料三百円以上

開創七十一周年記念大祭

大本山成田山新勝寺
岸田照泰貫首大僧正ご巡錫

記念大法要

十一月三日（文化の日）
午前十一時より本堂にて厳修



岸田照泰貫首猊下

記念大祭行事日程

十一月二日（土）

- ・宗祖弘法大師報恩法要・出世稲荷法楽
（午前十時 大師堂、出世稲荷堂）
- ・献華式（午前十一時の大護摩供に併催）

十一月三日（文化の日）

- ・開創七十一周年記念大法要（午前十一時）
- ・記念大祭式典（記念大法要終了後）
- ・大祭記念大護摩供（午前九時、午後一時、三時）
- ・八方宝剣法要（午前九時半、祈禱殿屋上）



第40回 成田山 全国競書大会

私の中の静と動

山梨学院高等学校 小田切陽依 さん

この度は、駐日中国大使賞という素晴らしい賞に選んでいただき、ありがとうございます。

教室の先生から特別賞受賞の電話をいただいた時は「何かの違いじゃない？」と思いました。第三十八回大会で読売賞を、第三十九回大会で成田山賞をいただき、それだけでも奇跡に近々と大変驚いていました。そのうえ今回は特別賞のうちのひとつに選んでいただけたなんて、とて

も信じられず、実感が湧きませんでした。四月に行なわれた授賞式に参列し、喜びと共に改めてこの賞の重さを感じ、七月の席書会へ向けて身が引きしまる思いがしました。

席書会へ向けて私が選んだ言葉は、「玉不磨無光」です。どんなに優れた素質や才能を持つていても、努力を積み重ねれば立派な人物にはなれない。私はこの言葉をいつも意識しています。私は書道を習



席書会で揮毫する筆者

い始めて十年経ちました。それと並行してスケートボード競技も頑張ってきました。スケボーでは、常に激しい動きをしたり、大会で戦ったり、厳しい状況ばかりです。だから私にとって書道は、心を落ち着かせることが出来る安らぎの場でもあります。書道とスケボー、全く別世界のものですが、相通じるものがあると思います。どちらも日々の積み重ねがあつてこそ、成果が表れるものだからです。私にとつてどちらも欠かすことの出来ない存在です。

私は一年前に大怪我をしてしまい、手術をしました。今もスケボーには乗れず、悔しい思いをしています。まだ諦めてはいません。そんな気持ちもこめて、この字を練習してきました。指導して下さった折戸鳳林先生から、「ひよちゃんらしい字を書いたらいいよ。」といつも声をかけていただき、本番も自分らしく堂々と書こう、と思うことが出来ました。

第61回 成田山学童席上揮毫大会

一、日 時 十月五日(土) 午前七時〜午前十一時三十分

一、受 付 信徒会館一階玄関前にて 午前六時三十分より受付

一、会 場 信徒会館一階ホール

一、参加資格 幼・小・中・高校生

一、参加費 無料

一、作品形式 規定半紙縦書き

(当日会場にて規定半紙を二枚配布)

一、成績発表 十月下旬に中日新聞及び当紙上にて

一、表彰式 十一月九日(土) 午前十時 信徒会館一階ホール

一、注意事項 会場での練習はできません。作品は参加者自身が選ぶこと。提出された作品は返却しません。

【 課 題 】

幼年	とぶ
小一年	みやび
小二年	おもいで
小三年	お月さま (楷書)
小四年	秋さく花 (楷書)
小五年	輝く未来 (楷書)
小六年	意見発表 (楷書)
中一年	無形文化財 (楷書)
中二年	無形文化財 (行書)
中三年	無形文化財 (行書)
高校生	泉声帯月静 (自由)

索の會だより

会
特別企
案の

大本山成田山新勝寺
東京別院深川不動堂・日光東照宮

参拝旅行

成田山索の会特別企画として、九月二日～四日に大本山成田山新勝寺・東京別院深川不動堂・日光東照宮へ二泊三日の参拝旅行を計画し、参加者144名の大参拝団を結成しての実施となりました。

早朝各地を出発した一行は心配された台風の影響もなく、東京別院深川不動堂に着。記念撮影、昼食、諸堂伽藍、大護摩供を参拝し、中村照丸主監より丁寧なご挨拶を、別院皆様からは心暖まるご接待を賜りました。



大本山成田山新勝寺光輪閣にて岸田貫首猥下とともに記念撮影

夕方、宿泊施設である成田アートホテルにて到着。懇親会を開催しました。懇親会では、名古屋別院小豆畑主監より挨拶を賜り、索の会副会長 社本宮明氏が挨拶をされました。同会常務理事 岡部幸男氏の乾杯の発声後は、和気あいあいとした雰囲気の中で一日目を終えました。二日目は午前五時三十分からの新勝寺朝護摩供参拝から始まりお手綱参拝を終え、光輪閣にて記念

新勝寺で坊入り



撮影。坊入りでは伊藤照節寺務長よりご挨拶を賜りました。その後、ボランティアガイドの案内により諸堂を参拝、昼食は成田名物のうなぎ重を頂きました。最終日、日光輪王寺・東照宮を参拝し、全ての行程を無事に終え、参加者皆様にとつととても充実した三日間となりました。また此度、移動の車中で頂くパンやお菓子をこ協賛いただきました。この場を借りて、厚く御礼申し上げます。事務局記

◆ご協賛御芳名(順不同)
丹羽郡 福玉精穀倉庫(株)
社本 宮明

名古屋市 山崎製パン(株)
名古屋工場
名鉄観光バス(株)
岡部 幸男
中村 富子

『索の会特別企画 大本山成田山新勝寺 東京別院深川不動堂・日光東照宮参拝旅行』に参加して

特別企画として参拝のバス旅に心弾ませ参加させて頂きました。

【1日目】成田山東京別院深川不動堂へ。中村照丸主監様からご挨拶、大護摩参拝では大太鼓の凄まじい音と地響きが全身に共鳴、おねがい不動尊、祈りの回廊は8499体小型のクリスタル五輪塔に入った不動尊像、壁に連なる巨大念珠に触れながら、幼少時の祖父母の家での大念珠の懐かしさを感じて回った。

続いて阿字橋、十二支守一代守り本尊、供養の間、宝蔵大日堂の天井画「大日如来蓮池図」、平和の鐘をご案内頂き参拝した。



東京別院深川不動堂

その後宿のアートホテル成田へ到着。19時から懇親会。始めに索の会副会長(丹羽支部長) 社本宮明様よりご挨拶「秋晴れになり皆様のご信心とご精進のお陰、お不動様のお力を頂いて大勢の方がご参加お詣り下さる喜びと感謝」のお言葉を頂戴しました。

次に成田山名古屋別院小豆畑照観主監様よりご挨拶「25日からの長い台風に関係者の方々はずごく神経を使っただ変な一週間を労われ、又この様な中行われましたのご縁にお不動様のご加護のお陰と當山開創70周年記念大祭が無事に終わられた御礼」のお言葉を頂戴しました。



日光東照宮

【2日目】大本山成田山新勝寺へ。早朝薄暗い中をお不動様と巡り合うために一歩ずつ進めた。朝護摩参拝では御本尊不動明王尊のご宝前に進みお手綱に触られたことは感動しました。次に貫首猥下をお迎えしての記念撮影、坊入では精進料理を舌鼓、新勝寺でしか味わえない「大浦ごぼう」は甘辛い味付けで美味しかった。気付けば外は嵐。ご厚意により貴賓の間に収められた襖絵「日月春秋」を奇跡的に拝見できました。その後雨が止み大本堂、平和大塔、醫王殿三重塔、仁王門を参拝した。途中に立寄って参拝した牛久大佛の高さに驚いた。

【3日目】輪王寺・日光東照宮へ。世界を平和の輪でつなぐ日光山輪王寺では旅行参加者の息災を願い、皆さんで法楽をお唱えした。次に日光東照宮参拝、陽明門、回廊、すべてが豪華絢爛の美しさに目を奪われた。結びに日頃お不動様がいつも心に灯りをともして下さる親近感と幸せを感じ、お不動様から更に強く生きる力を頂いて帰路に着きました。

成田山索の会丹羽支部
大口町太極拳協会
村田美保子

10月の成田山行事

お不動さまの御縁日
毎月1日、15日、28日

- ◆七五三まいり
10月1日～11月30日
- ◆ご詠歌講習会 15日
午後1時 信徒会館3階
- ◆ほうろく灸 20日 大師堂
- ◆写経会 28日 信徒会館3階

行事は中止または内容が変更となる場合がございます。最新情報はホームページ、境内掲示、お電話にてご確認ください。

『七五三まいり』のご案内

- ◆期 間 10月1日～11月30日
 - ◆ご祈祷時間 午前9時より午後3時まで
 - ◆と ころ 本堂
 - ◆ご祈祷料 5千円以上(御札、お守り、千歳飴、ジュース、日本モンキーパーク招待券付き)
- ※11月3日は当山大祭のため、10時から12時30分の間、ご祈祷を控えてさせていただきます。

夜間境内封鎖のお知らせ

防犯及び安心安全確保の為、夜間施錠を以て境内地を完全封鎖することとなりましたのでお知らせ致します。皆様のご理解とご協力の程宜しくお願い申し上げます。

施錠時間
夕方6時～翌朝6時

銅板志納者芳名

(順不同敬称略)

八月

- 各務原市 (株)TEAM
- 岩倉市 ソノケミカル
- 名古屋市 福谷 麻子
- 加藤 充代
- 井上 英子
- 竹内 里沙
- 宮澤 保雄
- 伊藤 康 紘
- 早川 勇

八月の大護摩供

修行者芳名

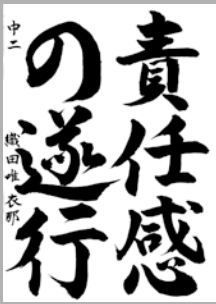
(順不同敬称略)

- 名古屋市 港トラック成田講
- 瑞穂市 丸門建設(株)
- 丸門運輸(株)
- 羽島市

紙上書道展

中一 織田唯衣那

【評】行書の運筆がうまく出来まともによりよく書けました。



碧南市 井上メッキ工業(株)

名古屋市 (株)TKB

東近江市 滋賀丸門運輸(株)

各務原市 (株)TEAM

半田市 ミロク工業(株)

江南市 (株)林本建設

名古屋市 住友電設(株)

通信システム事業部

丹羽郡 (有)大矢設備

八月の自動車特別

ご祈祷修行者芳名

(順不同敬称略)

- 春日井市 水野 素子

八月の登山講社

- 名古屋市 名古屋成田講
- 港トラック成田講
- 山県市 成田山岐北月参講
- ◆索の会 名古屋成田講支部

小五 林優衣奈

【評】一点一画でいねいな筆使いで書けました。



港トラック支部
岐北月参講支部



成田山成福講 信貴山参拝

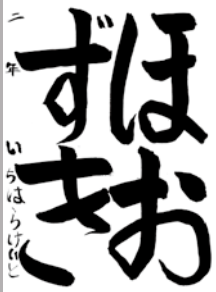
成田山成福講(先達II青木一博氏)では七月十四日、恒例の信貴山・生駒山・三輪大社参拝旅行を実施いたしました。

一行は早朝五時に出発し、奈良県へ入り三輪明神や生駒山宝山寺を参拝後、信貴山へ到着いたしました。境内参拝後、朝護孫子寺本堂にて大般若のご祈祷を受け、成福院本堂にてお護摩ご祈祷を受けました。

菱木記

小二 市原圭人

【評】すなおな線でしっかりと書いていねいに書けました。



編集室より

お彼岸も過ぎてようやく暑さも和らぎ過ぎしやすい季節がやってきました。今年の夏の暑さも本当に体に厳しいもので、連日酷暑が続き、日中の活動に支障をきたすほどでした。調子を崩すのは人間だけではなく、お米の不作にも影響された令和の米騒動も記憶に新しい所です。執筆時は九月初頭ですので結果はまだわかりませんが、新米の出荷で落ち着いてくれることを祈るばかりです。今まで通りとはいかないのが世間の常でございますが、成田山が常に変わらず皆様のご安心に役立てればと願っております。これからの行楽シーズン、足を延ばしてお参りいただけます事をお待ちしております。

岩田記

健康増進・身体健全 ほうろく灸

- ◆日時 十月二十日
午前九時～午後二時
- ◆場所 大師堂